

幼保・小・中を地域ぐるみで支援する協育活動

～由宇地域協育応援団を中心とした「地域協育ネット」～【岩国市 由宇中学校区】

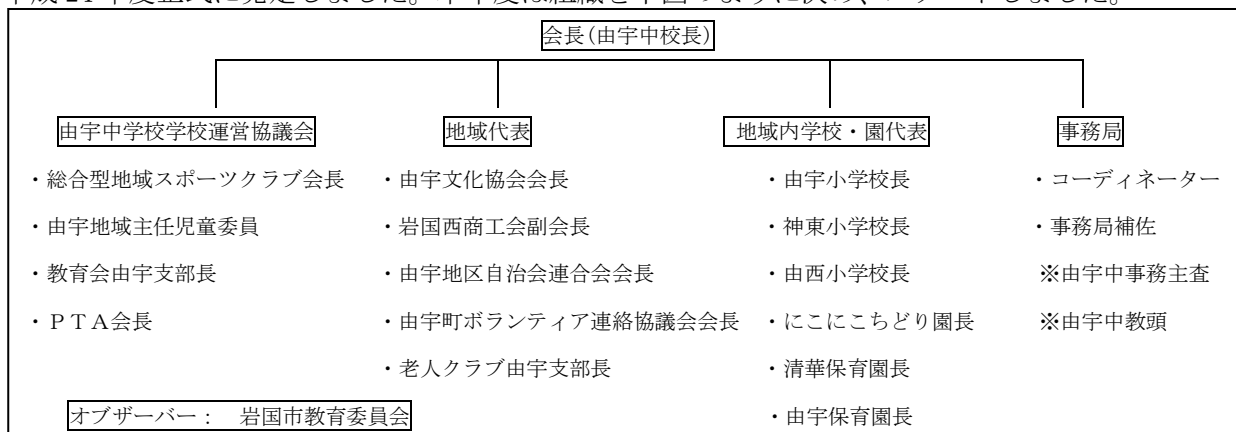
地域の概要

岩国市由宇地域は山口県東部に位置し、瀬戸内海に臨む温暖な地域です。江戸時代は廻船業、近代になってからは繊維工業、農業、漁業が町を支えてきましたが、近年は岩国、柳井地域のベッドタウン化しています。小学校3校（由宇・神東・由西）、中学校1校、幼稚園、保育園が4園設置され、教育に熱心な地域です。ただ、少子高齢化が進行し、高齢化率が31.1%であり、児童生徒数も減少しています。

人口	8,690人	
世帯数	3,819世帯	
対象校及び児童生徒数	由宇中学校	213人
	由宇小学校	356人
	神東小学校	20人
	由西小学校	17人

組織の内容

「由宇地域協育ネット協議会」は平成22年度から2年間のコミュニティ・スクールの研究を経て、平成24年度正式に発足しました。本年度は組織を下図のように決め、スタートしました。



協議会では、①各学校の現状と地域での児童生徒の様子などの情報交換、②現在、幼保・小・中学校で求められている地域支援の内容、③地域から学校に求められている児童生徒像、今後の由宇地域の教育的課題などについて協議しています。

昨年度の協議会の取組の柱の一つは、地域に求める学習支援のニーズを吸い上げ、その実態に合わせて由宇地域全体に「由宇地域協育応援団」を募集することでした。

その結果、現在、団体13チーム、個人32名、総勢170名（H25.12現在）の応援団となりました。

特色・重点的な取組

- 由宇中学校内に地域協育ネット事務局を設置しました。コーディネーターと補佐役の2名にお願いしています。協育応援団のより詳しいデータ、各学校からの要望データ、1年間の実績データの管理一元化をめざしました。＜毎週火・木 9時～11時 協育ネット室駐在＞
- コミュニティ・スクールや地域協育ネットの認知度が低いため、PR活動を行っています。学校だけでなく、HP、校内掲示板、PTA広報に掲載し、具体的な活動について周知を図っています。
- 学校から地域への貢献として、子どもに対しボランティア活動を推奨しています。双方向のかかわりにより、地域の方々にとっては子どもたちの実態把握が容易になり、子どもたちにとっては、地域の方からの評価により新しい自分を発見する機会となり得ると考えています。



花の植え替えボランティア

主な活動の紹介

○幼保・小・中からの教育支援要請と活動までの流れ

由宇地域協育ネット活用申請書を事務局に提出し、事務局の地域コーディネーターから応援団に依頼の連絡をします。了承した応援団のメンバーは先の申請書を受け取り、各幼保・小・中学校に出向き、具体的な打ち合わせを行い、学習支援の当日を迎えます。

由宇地域協育ネット活用申請書

このことについて下記のとおり申請しますので、よろしくお取り扱い願います。

定

申請者
 氏名 性別 年齢 学年 学年末
 職名 職名
 住所 郵便番号 市町村 区 丁目 番地 号
 電話番号 88-0660 携帯番号 88-3915
 所属校 学年 学年末
 申請校 学年 学年末
 申請日

協育ネット事務局
 〒670-0001 兵庫県加古川市加古川1-1-1
 TEL 079-422-1111 FAX 079-422-1112

コーディネーターが学校支援の調整を行います。



この様子は、「読売新聞岩柳がわらばん」に掲載されました。

由宇地域協育応援団活用一覧																
月	神東小学校				由西小学校				由宇小学校				由宇中学校			
	学年	教科 種別	内容	指導者	学年	教科 種別	内容	指導者	学年	教科 種別	内容	指導者	学年	教科 種別	内容	指導者
9月	全	総合 生活	授業	個人	3-6 総合	音楽	生保音楽練習	個人	4	総合	生物の学習	個人	全		行事	別紙 文化祭準備
					1	生活	読売探字づくり	個人								図書整理
10月	1-4	国語	読売新聞読み聞かせ	個人	全	音楽	生保音楽練習	個人	3	総合	ふるさと史跡探訪・クイズ大会	個人	1	国語	読本の読み語り	個人
					3-6	総合	生保音楽練習	個人	4-6	クラブ	手鼓クラブ	個人	1	国語	読本の読み語り	個人
									6	家庭	ナップザック製作	個人				
11月	全	総合 生活	授業	個人	1	国語	読み聞かせ	個人	7		読み聞かせ	個人	2	国語	読本の読み語り	個人
5.6	国語	読売新聞読み聞かせ	個人	2-6	総合	生保音楽練習	個人	6	総合	高齢者・車椅子体験	個人	1	国語	読本の読み語り	個人	
					2.4	総合	読字	個人	6	総合	手鼓クラブ	個人				
										クラブ	手鼓クラブ・ランチャ・マツ	個人				
										国語	前後天教室	個人				
12月	全	総合 生活	授業	個人	1	国語	読み聞かせ	個人			読み聞かせ	個人	1	国語	読本の読み語り	個人
					3-6	総合	生保音楽練習	個人								
					2.4	総合	高齢者体験	個人								

○PR活動



校内掲示板上コミュニティコーナー

生徒や来校者へのPRのために、校内掲示板上コミュニティコーナーを設置しています。



ボランティア活動

各団体実施のボランティア事業を生徒会役員が全校に紹介し、募集して多くの生徒が参加しています。その行く先々で学習を支援してもらった方にも出会い、気軽に話ができる双方向の関係になっています。

成果と課題

今年度は、協育応援団について整理し、一覧にして周知し合うこと、地域協育ネット事務局を通じて積極的に、またスムーズに活用できるようなシステムづくりをすることが主な取組でした。

【成果】

- (1) コーディネーターの活動拠点ができ、学校と地域をつなぐ活動が可能になったこと。
- (2) コーディネーターが支援要請を行うことで、教職員が子どもと向き合う時間を確保できたこと。
- (3) 子ども主体でスムーズに地域の方とつながることができるようになり、協育応援団の方々も、学校に入りやすくなったこと。

【課題】

- (1) 地域の方と学校との意識がより近くなるよう工夫していくこと。
- (2) 地域が育てる子どもたちの実態について、広くPRすること。

今後の取組

昨年8月に由宇地域と由宇地域の学校を対象とした「学校と地域に関するアンケート調査」が、兵庫教育大大学院日渡教授を中心としたチームによって行われました。地域協育ネットを立ち上げて2年目ですが、「教職員の意識と地域住民の意識の所在について」や「地域協育ネットの教育効果について」など様々な分析がなされることとなります。平成26年2月、兵庫教育大大学院と岩国市教育委員会、「由宇地域協育ネット」関係者が一同に会し、「アンケート調査結果分析による今後の地域協育ネットの在り方」について協議を行いました。これを受けて、来年度以降、地域の方々と協働して15年間の育ちをめざす教育活動を充実させていこうと考えています。